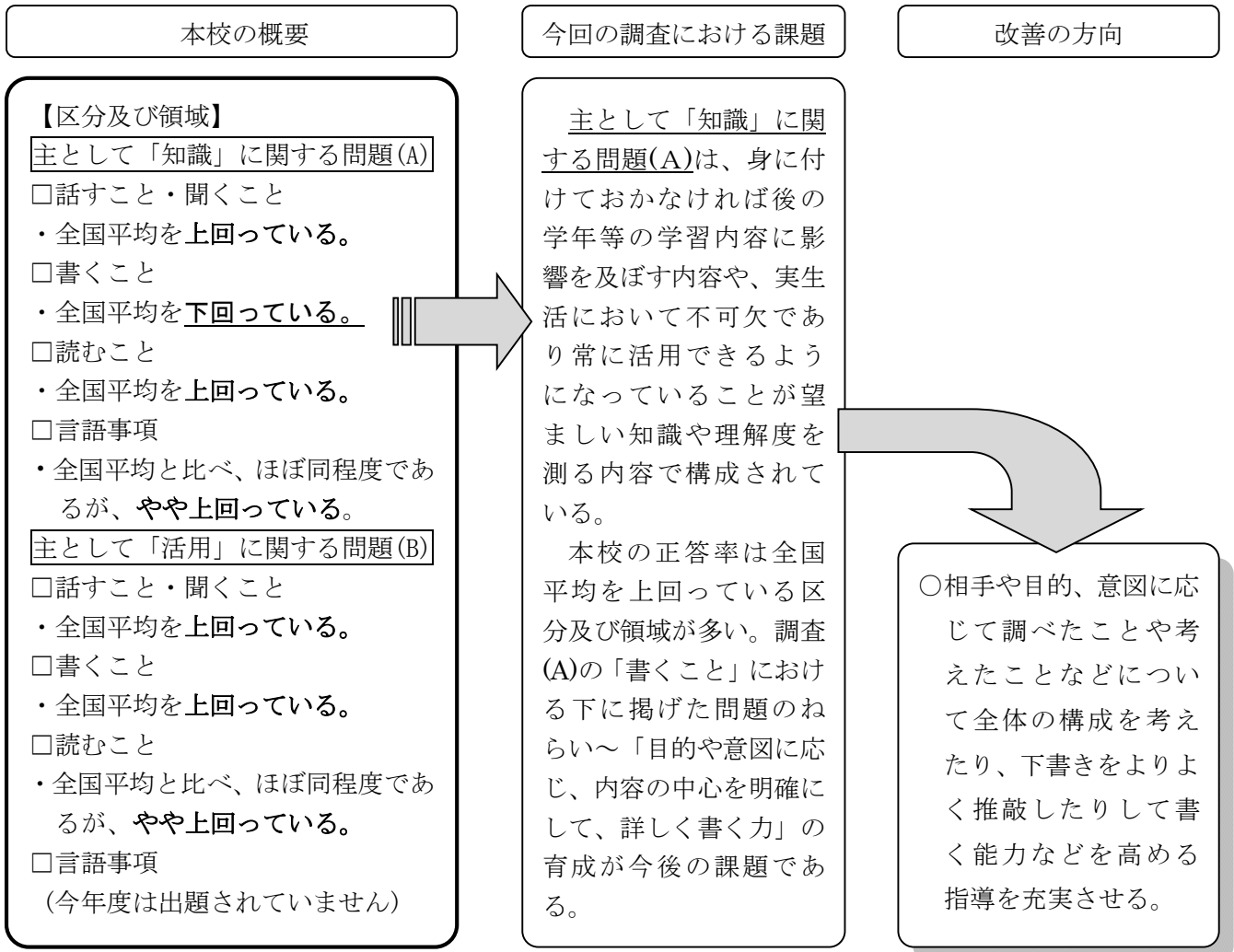


学力調査の結果概要及び改善の方向等について

【小学校国語】



今回出題された問題から

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館に行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんへ、お礼のお手紙を書いていきます。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございます。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたくきだけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところをすることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからもいろいろなことをわたしたちに教えてください。

松本さんは、【山村さんへの手紙】の網掛け部分でどのようなことを書いていますか。その説明として最も適切なものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いています。
- 2 今と昔の生活のちがいについて、体験して気づいたことを書いています。
- 3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いています。
- 4 見学して新たに疑問に思ったことを書いています。

《正答》2

《解説》お世話になった山村さんに感謝の気持ちを伝えるため、体験を通して感じたことや気づいたことを具体的に書いています。

【小学校算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「量と測定」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「図形」
 - ・全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」
 - ・全国平均を上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「量と測定」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「図形」
 - ・全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」
 - ・全国平均を上回っている。

「図形」領域の学習では、単なる定義や公式の理解ではなく、操作を伴いながら図形の特徴について実感的に学ばせていく必要がある。

●正多角形は、角の数に応じた複数の二等辺三角形で構成されていることについて理解を深めること。

●示された割合を解釈して基準量と比較量の関係を表している図を判断できるようにすること。

「知識(A)」

○図形について、観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める指導の充実。

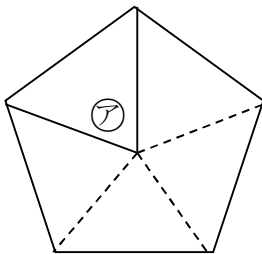
「活用(B)」

○身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する指導の充実。

今回出題された問題から

「知識(A)」

正五角形の中心から各頂点に向かって引いた直線で作られた各⑦の大きさを求めましょう。



《正答》

正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成されていることをふまえる。

円の中心の周りの角は 360 度であることから、それを 5 等分して $360 \div 5 = 72$ 度となる。

「活用(B)」

地球から最も離れた時の満月の見かけの大きさをもとにすると、最も近づいた時の満月の大きさは約 14% 大きいです。満月の直径を硬貨の直径に置き換えて考えます。最も遠い時の大きさを 1 円玉の直径とした時、最も近づいた時の大きさは 100 円玉と 500 円玉の直径のどちらに近いですか。

- 1 円玉の直径 = 20mm
- ・ 100 円玉の直径 = 22.6mm
- ・ 500 円玉の直径 = 26.5mm

《正答例(※100 円玉の直径に近い)》

- ◎最大の満月の直径は、 $20\text{mm} \times 1.14 = 22.8\text{mm}$
 - ・ 100 円玉との差は、 $22.8\text{mm} - 22.6\text{mm} = 0.2\text{mm}$
 - ・ 500 円玉との差は、 $26.5\text{mm} - 22.8\text{mm} = 3.7\text{mm}$
- 100 円玉の直径との差が小さいので、100 円玉に近い。
- ◎1 円玉の直径をもとにした時
 - ・ 100 円玉の直径の割合は、 $22.6 \div 20 = 1.13$
 - ・ 500 円玉の直径の割合は、 $26.5 \div 20 = 1.325$
- 割合の 1.13 と 1.325 で、1.14 に近いのは 100 円玉の 1.13 なので、100 円玉に近い。

質問紙調査

～ 学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面について尋ねたもの ～

【学習面】

①全国よりも高いポイント

- ・家で学校の授業の予習や復習をしている子の割合が多い。
- ・国語の学習がよく分かると答えている子の割合が多い。
- ・友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができていると感じている子の割合が多い。
- ・先生が、自分のよいところを認めてくれていると感じている子の割合が多い。
- ・算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると答えている子の割合が多い。
- ・家で学校の宿題をしていると答えた子どもは、100%である。

②全国よりも低いポイント

- ・学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますかという問いに対する肯定的な感じ方をしている子の割合が少ない。
- ・また、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますかという問いに対する肯定的な感じ方をしている子の割合が少ない。
- ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますかという問いに肯定的な感じ方をしている子の割合が少ない。
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことに対して抵抗感を感じている子の割合が多い。

【生活面】

①全国よりも高いポイント

- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると答えている子の割合が多い。
- ・「朝食を毎日食べてきている」児童や「毎日同じくらいの時刻に寝ている」児童の割合が多い。
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている子の割合が多い。
- ・学校のきまりを守っていると答えている子の割合が多い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと願っている子の割合が多い。

②全国よりも低いポイント

- ・今住んでいる地域の行事に参加していると感じている子の割合が少ない。
- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあると答えている子の割合が少ない。
- ・地域の行事に参加する児童が非常に少ない。
- ・同様に、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えている子の割合も少ない。

質問紙の結果からは、学校での学習を基に、家庭で予習や復習にしっかりと取り組んでいる子が多いということが分かりました。今回の学力テスト教科であった国語と算数については、学習内容がよく分かり、解決のための道筋を自分自身でしっかりと考えているという結果が示されています。これからも「さっぽろっ子『学び』のススメ」で示されている「まほうのかいわ」の考え方を大切に、家庭と協力しながらお子さんの指導にあたっていきたいと思います。

また、家庭での生活リズムや約束事がしっかりと整えられているのが本校の特徴です。お子さんが学校内外でしっかりと力を発揮できているのも安定した生活基盤に支えられているからだと思います。

一方で、「自分で課題を立て、友達と情報を交換しながら、解決に向かっていく」という学習方法に抵抗感を感じている子も少なくありません。今後も、学習に対する目標をもたせるとともに、解決に向かってやる気を引き出す関わりをしていきたいと思います。